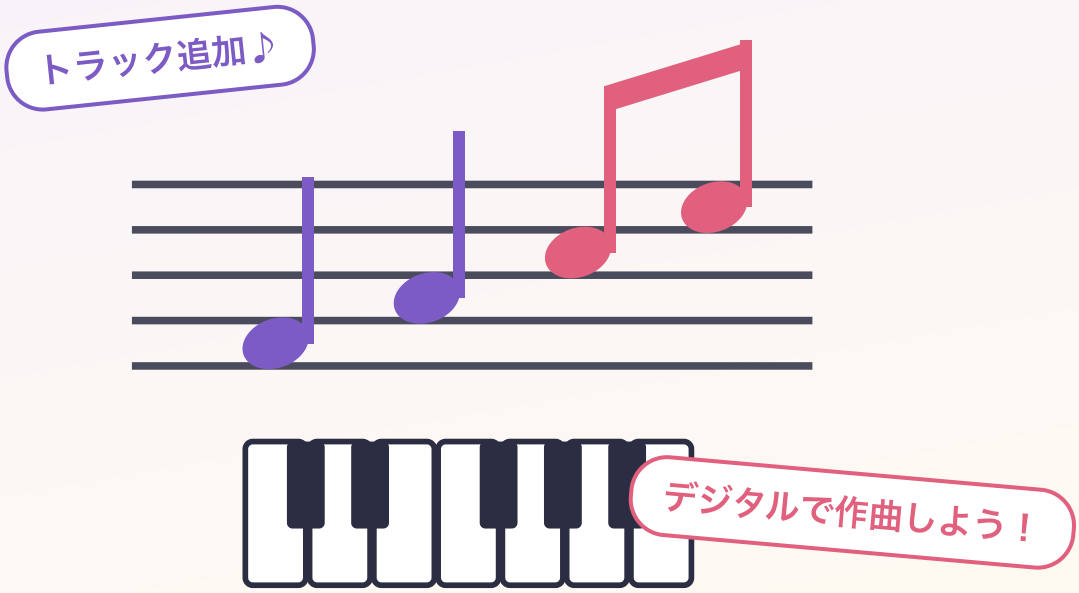
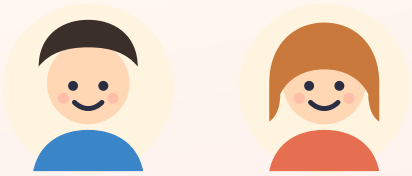
Season 8 | No.77



パソコン・アプリで作曲

画面の中で、音を重ねて曲をつくろう



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

DAWの基本 …… 3〜9
トラックをつくる …… 10〜15
仕上げて発表 …… 16〜19
練習しよう …… 20〜24
ふり返り …… 25〜30

Lesson 1

デジタルで音楽をつくる

パソコンやスマホでも、本格的に作曲できます。

今は、パソコンやスマホの画面の中で、**楽器がなくても曲をつくれる**時代です。
打ち込んだ音を、何度でも聴き直したり、直したりできるのが大きな魅力です。



ポイント

- 演奏が苦手でも、画面をタップして音を選ぶだけで曲づくりが始められます。
- できた曲は、すぐに録音・保存でき、友だちにも共有しやすくなります。

やってみよう

1. 家にある音楽アプリを1つ開いて、どんな画面か見てみよう。

ワンポイント アプリを使うときは、大人といっしょに使い方や利用時間を確認しましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 2

作曲アプリの種類

アプリにはいろいろな種類があります。

種類	できること
かんたん作曲アプリ	タップだけでメロディやリズムをつくれる
本格的なDAWアプリ	楽器の音を細かく打ち込み、編集できる
録音アプリ	演奏や歌をそのまま録音できる

ポイント

- 最初はかんたんなアプリから始めて、慣れたら本格的なものに挑戦するのもおすすめです。

やってみよう

1. 家や学校で使える作曲アプリを1つ調べてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
3-4

DAWってなに？・画面の見方

DAWは、音楽をつくるための作業机です。

DAW
デジタル・オーディオ・ワークステーション
音を録音・編集・組み合わせて曲をつくるソフト

再生ヘッド
playhead
今どこを再生しているかを示す線

画面の場所	役割
上のバー	再生・停止・録音のボタン
左側	トラックの一覧
真ん中	音を打ち込む場所

やってみよう

1. アプリの画面を開いて、再生ボタンがどこにあるか探してみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 5

トラックってなに？

トラックは、楽器ごとの専用レーンです。

トラック

track

楽器や音ごとに分かれた、音を入れるレーン

ポイント

- ドラム・ベース・メロディなど、役割ごとにトラックを分けます。
- トラックごとに音量や音色を変えられるので、あとから調整がしやすくなります。

やってみよう

1. 曲をつくるなら、どんなトラックが必要か考えてみよう（例：ドラム・ベース・メロディ）。

書いて覚えよう

Lesson 6

音色（音源）をえらぶ

同じ音符でも、音色で印象が変わります。

音色の例

ピアノ　ストリングス　シンセサイザー　アコースティックギター　ドラムキット

音色を変えるだけで、同じメロディが明るくも、おごそかにも聴こえます。

やってみよう

1. 同じメロディを、ちがう音色で鳴らして聴きくらべてみよう。

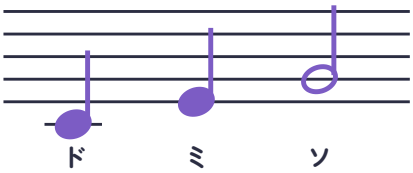
書いて覚えよう

Lesson 7

ピアノロールで入力

ピアノロールは、音の高さと長さを目で見て打ち込める画面です。

ピアノロールのイメージ



ピアノロールでは、音の高さをたてに、長さを横に、四角いマス目で表します。

ポイント

- マス目の位置をマウスやタップで置くだけで、音を入力できます。
- 楽譜が読めなくても、色や位置を見て作業できるのが特徴です。

やってみよう

1. 上のドミソのメロディを、ピアノロールに置くならどの高さになるか確認しよう。

書いて覚えよう

Lesson 8

ドラムパターンを入力

打楽器の音は、マス目でリズムを組み立てられます。

音	入れるタイミングの例
バスドラム	1拍目・3拍目
スネア	2拍目・4拍目
ハイハット	8分音符でこまかく

ポイント

- マス目に印をつけるだけで、複雑なリズムも簡単に組み立てられます。

やってみよう

1. 上の表を参考に、4拍分のドラムパターンをマス目でイメージしてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 9

ベースを入力

低い音の流れが、曲全体を支えます。

ベース

bass

曲の中でいちばん低い音の流れ。土台の役割

ポイント

- ベースの音は、多くの場合コードの根音（いちばん下の音）を使います。
- ドラムとベースがそろうと、曲のリズムの土台が安定します。

やってみよう

1. コード進行を1つ決めて、その根音だけを口ずさんでみよう。

書いて覚えよう

Lesson
10

コードを入力

和音のトラックが、曲に響きをつけます。

ポイント

- コードトラックには、メジャーやマイナーなど、和音を入力します。
- コード進行を先に決めておくと、メロディやベースも考えやすくなります。

やってみよう

1. 好きなコード進行を1つ選び、トラックに入れるつもりで書き出そう。

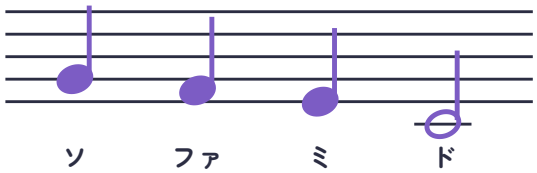
書いて覚えよう

Lesson 11

メロディを入力

主役のメロディを、丁寧に打ち込みましょう。

メロディの入力例



コードの中の音を中心に選ぶと、自然に聴こえるメロディになります。

ポイント

- 一気に長いメロディをつくろうとせず、短いまとまりから始めましょう。

やってみよう

1. 4つの音でできる短いメロディを1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 12

ループを使う

くり返し素材（ループ）を使うと、作業がはかどります。

ループ

loop

同じ演奏パターンをくり返し使える音の素材

ポイント

- 最初から全部つくらなくても、用意されたループを組み合わせるだけで曲になります。
- ループの一部を変えると、自分らしいオリジナリティーが出せます。

やってみよう

1. アプリにあるループ素材を1つ聴いて、感想を書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 13

音量のバランス

音の大きさをそろえると、聴きやすくなります。

①	メロディが聴こえにくい	メロディを少し大きく
②	ドラムがうるさい	ドラムを少し小さく
③	全体がこもって聴こえる	音の数を減らす

ポイント

- トラックごとに音量をつまみで調整できます。
- 主役（メロディ）が埋もれないよう、まず全体のバランスを聴きましょう。

やってみよう

1. 自分の作品で、いちばん聴こえてほしい音はどれか考えてみよう。

_____

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 14

エフェクト入門

エフェクトで、音に空間や質感をつけられます。

よく使うエフェクト

リバーブ（残響）　イコライザー（音質調整）　ディレイ（やまびこ）

エフェクトをかけすぎると、聴きづらくなることもあります。少しずつ試すのがコツです。

やってみよう

1. 同じ音に、エフェクトをかける前と後で聴きくらべてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 15

書き出し（保存）

完成した曲は、ファイルとして書き出します。

ポイント

- 作業中のデータと、完成して書き出した音声ファイルは別物です。
- 書き出すと、アプリがなくても曲を聴いたり、人に送ったりできます。

やってみよう

1. 自分の作品を保存するとしたら、どんなファイル名にするか考えてみよう。

　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント 作業の途中でも、こまめに保存しておくと安心です。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 16

スマホで作曲

スマホだけでも、十分に曲づくりが楽しめます。

ポイント

- パソコンがなくても、スマホのアプリで作曲を始められます。
- 画面をタップして音を選ぶだけの、シンプルなアプリもたくさんあります。

やってみよう

1. スマホで音楽アプリを使うときのルール（時間や場所）を、家族と確認しよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 17

データの管理

作品データは、整理して大切に残しましょう。

整理の工夫	理由
日付や曲名でファイル名をつける	あとで探しやすい
フォルダに分けて保存する	作品が混ざらない
こまめにバックアップする	データが消えても安心

やってみよう

1. 自分の作品を、どのように整理して保存するか考えてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
18-19

作品を聴いてもらう・デジタル作曲の発表

できた作品を、人に聴いてもらいましょう。



Ken
パソコンで作った曲を家族に聴かせたら、びっくりしてた！

Emma
打ち込みでも、ちゃんと気持ちのこもった曲になるんだね。



ポイント

- デジタルでつくった作品も、心を動かす立派な音楽です。
- 発表のときは、どんな工夫をしたか、一言そえると伝わりやすくなります。

やってみよう

1. 自分のデジタル作品を、家族や友だちに聴いてもらおう。

書いて覚えよう

Lesson 20

聴いてくらべよう

2つの作品をくらべると、工夫の違いがわかります。

くらべるところ	作品A	作品B
使われている楽器	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿
トラックの数	多い・ふつう・少ない	多い・ふつう・少ない
雰囲気	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿

ポイント

- 同じアプリでつくった曲でも、選ぶ音色や組み合わせで個性が出ます。

やってみよう

1. デジタルでつくられた曲を2つ聴きくらべて、表を完成させよう。

書いて覚えよう

Lesson
21-22

やってみよう・みんなで練習

画面を見せ合いながら、アイデアを出し合いましょう。

A （トラックを1つ足す）ドラムを入れたよ

B （感想）＿＿＿＿＿＿＿＿

A （音色を変える）ピアノに変えてみた

B （感想）＿＿＿＿＿＿＿＿

A （音量を調整する）

B （感想）＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント

- A が1つずつ工夫を加え、B が感想を伝える練習です。
- 画面を見ながら、どこが変わったか一緒に確認しましょう。

ワンポイント 友だちの作品にコメントするときは、まず良いところから伝えましょう。

書いて覚えよう

Lesson 23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき（よくあること）	コツ（こうしてみよう）
操作がわからない ボタンが多くて迷う	1つの機能から覚える 再生・録音だけでOK
音がバラバラに聴こえる 音量やタイミングが合わない	1トラックずつ確認する 全体は最後に聴く
曲が完成しない やり直しが多くなる	短い曲から完成させる 8小節でも十分

ポイント

- できないところは、機能を1つずつ試して練習しましょう。

やってみよう

1. あなたがデジタル作曲でつまずきやすいことは？ _____

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

基本の言葉

- ☐ **DAW**
  音楽をつくるためのソフト
- ☐ **トラック**
  楽器ごとの音を入れるレーン
- ☐ **音色（音源）**
  楽器の音の種類

入力する音

- ☐ **ピアノロール**
  音の高さと長さを打ち込む画面
- ☐ **ドラムパターン**
  打楽器のリズムの組み立て
- ☐ **ループ**
  くり返し使える音の素材

仕上げの言葉

- ☐ **音量のバランス**
  音の大きさの調整
- ☐ **エフェクト**
  音に空間や質感をつける処理
- ☐ **書き出し**
  作品を音声ファイルにすること

その他

- ☐ **再生ヘッド**
  今再生している場所を示す線
- ☐ **ベース**
  曲の土台になる低い音
- ☐ **データの管理**
  作品を整理して保存すること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、アプリの操作も理解しやすくなります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

DAW	ア. 楽器ごとの音を入れるレーン
トラック	イ. くり返し使える音の素材
ピアノロール	ウ. 音楽をつくるためのソフト
ループ	エ. 作品を音声ファイルにすること
書き出し	オ. 音の高さと長さを打ち込む画面

2. 空らんに入る言葉を書こう

1. 楽器ごとに音を入れるレーンを［　］という。＿＿＿＿＿＿
2. 音に空間や質感をつける処理を［　］という。＿＿＿＿＿＿

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 音の高さと長さを打ち込む画面 → （ ピアノロール ／ トラック ）
2. くり返し使える音の素材 → （ ループ ／ エフェクト ）

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	トラックの役割を説明できる	DAWの基本
☐	ピアノロールに音を入力するイメージができる	打ち込みの理解
☐	ドラム・ベース・メロディを分けて考えられる	組み立てる力
☐	音量のバランスに気をつけられる	仕上げる力
☐	作品を人に聴いてもらった	発信する力

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 全部できなくても大丈夫。少しずつ増やしていけば十分です。

書いて覚えよう

Lesson 28

家でできる練習

毎日少しずつ、デジタル作曲にふれよう。

朝
アプリを開いて音色を1つ聴く

移動中
頭の中でメロディを考える

おふろ
考えたメロディを口ずさむ

夕方
アプリで短いフレーズを打ち込む

夜
作業をこまめに保存する

週末
家族に作品を聴かせる

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

デジタルでつくった曲を、人に伝えてみよう。

曲名	
使ったトラック	
工夫したところ	
聴いてほしい人	

Emma の例

曲名 光のメロディ／使ったトラック ピアノ・ドラム・ベース／工夫したところ サビでリバーブを強くした／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① この作品は、〜な感じに仕上がりました。② とくに、〜のところを工夫しました。③ それは、〜だからです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

デジタル作曲の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で
打ち込みの様子を見る

アプリで
新しい音色やループを試す

図書館で
音楽制作の本を読む

次のステップ

録音
生の演奏や歌を取り入れる

アレンジ
打ち込んだ曲を作り変える

発表
完成した曲をみんなに届ける

ポイント

- この教材の次は「録音の基本」。生の音をデジタル作品に取り入れる学びが待っています。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. デジタル作曲とは、どんなことですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん気に入った機能は？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから挑戦してみたいことは？＿＿＿＿＿＿＿＿

デジタル作曲ミッションカード

MISSION 1
アプリで音色を3つ聴きくらべる

MISSION 2
短いメロディを1つ打ち込む

MISSION 3
音量のバランスを調整する

MISSION 4
作品を家族に聴かせる

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson
34

パソコン・アプリで作曲チャレンジ

教室の外でも、デジタル作曲はすぐに楽しめます。

開こう
家にある**音楽アプリ**を1つ開く

鳴らそう
ちがう音色を3つ聴いてみる

伝えよう
気に入った音色を**家族に紹介**する

こたえ

L26 DAW→ウ トラック→ア ピアノロール→オ ループ→イ 書き出し→エ　2. トラック ／ エフェクト　3. ピアノロール ／ ループ

L33 （例）デジタル作曲は、画面の中でトラックを重ねて曲をつくること。

書いて覚えよう

パソコン・アプリで作曲（Season 8 ｜ No.77）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。